

Monthly Magazine Matsunami

[発行]社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

2019 December
12
No.242



リバーサイドカーニバル2019に 出展しました。

2019年10月20日(日)、笠松町主催で毎年開催される「リバーサイドカーニバル2019」に当院が出演しました。

リバーサイドカーニバルとは、木曽川の自然を利用した住民参加型のイベントです。笠松みなと公園が会場となり、地域の方々、地元団体や企業が多く参加しました。

当院からは、看護部と訪問看護ステーションが参加しました。看護部は、血圧測定と脈拍を測定する健康セルフチェックやドクター・ナースなりきり撮影会、ハンドマッサージ体験を実施しました。訪問看護ステーションは、健康・介護相談や背中をさすように優しく触れるタクティールケア体験を実施しました。日頃から健康を気にしている方をはじめ、ご高齢の方から高校生までたくさんの方々が当院のブースに立ち寄ってくださいました。

今回のイベントを通じて、地域の方々が普段抱えている健康や介護に関する悩みや不安などを少しでも解消できたと思います。当院は、今後も笠松町をはじめとした地域のイベントへ積極的に参加し、地域住民との交流の機会を増やしていきます。



▲ハンドマッサージ体験

▲タクティールケア体験

▲健康セルフチェック

次のページは、「令和元年度大規模災害訓練実施」のご報告

Matsunami Information

NEWS

第28回岐阜県失語症者の集いを開催しました。

9月28日(土)、不二羽島文化センターにて、岐阜県内の「失語症者友の会」の協力のもと、第28回岐阜県失語症者の集いを開催しました。参加者が一緒にになって、レクリエーションを行い、ハンディキャップを感じさせない歓声が会場に響き渡りました。

失語症は、周囲に理解されにくい「ことばの困難さ」を抱えています。そのため、全国でさまざまな支援が行われています。

当院が事務局である「笠松友の会」も支援活動の一つであり、今回その意義を改めて感じることができました。



講演会・セミナーのお知らせ

松ゼミ(松波ナーシングスキルアップセミナー)

テーマ 高齢がん患者の意思決定支援
日時 2019年12月12日(木) 17時30分～18時30分
場所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館1階 MGHホール
講師 がん看護専門看護師 小園 典子
共催 羽島郡在宅医療サポートセンター



クリスマスコンサート

日時 2019年12月14日(土) 14時00分～
場所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館1階 エントランスホール
演者 岐阜県立岐阜高等学校 音楽部の皆さん



がん患者・家族のつどい 2019年度年間計画

月	テーマ	講 師
5月	メイクアップについて	外部講師
7月	チューブ体操	理学療法士
9月	フットケア	外部講師
11月	アロママッサージ	外部講師
1月	がんのお話	消化器内科 第二消化器内科部長 伊藤 康文
3月	栄養のお話	管理栄養士

次回開催 2020年1月28日(火) 14時00分～
場所 社会医療法人蘇西厚生会 まつなみ健康増進クリニック 1階 化学療法室ラウンジ
お問い合わせ 058-388-0111(代)
 がん化学療法看護認定看護師 野々垣まで

岐阜長良川トレーニングサイトからのお知らせ

AHA公認コース・日本ACLS協会「岐阜長良川トレーニングサイト」では、小児・乳児のBLS(一次救命処置)や気道異物の対処法も学べます。また、心停止前の対応・蘇生後治療も、ACLS(二次救命処置)で学ぶことができます。医療職に限らず、一般の方でも受講可能です。下記のQRコードからご希望の受講コース・日時をお選びください。なお、下記の各コース・日時は、参加者募集中です。特にACLSコースは、すぐに定員に達しますので、お申し込みはお早めに!

日 時	BLSコース 2020年1月25日(土) ※募集締切:2020年1月19日(日)
会 場	ACLSコース 2020年1月11日(土)・12日(日) ※募集締切:2020年1月5日(日)
申込先	岐阜大学医学部
お問い合わせ	日本ACLS協会から「岐阜長良川トレーニングサイト」を選択 gifunagagaragawats@yahoo.co.jp (AHA岐阜長良川トレーニングサイト事務局)



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR2導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



社会医療法人蘇西厚生会

松波総合病院

〒501-6062

岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

令和元年度大規模災害訓練を行いました。



大地震の負傷者
迅速トリアージ
笠松町・松波病院で訓練
笠松町由代の松波総合病院は、大地震を想定したトレーニングや救護などの実動訓練を行い、万が一に備えた=写真=。
同病院は県から「地域災害」確認した。(長尾剛次)

岐阜点病院に指定されている。医師や職員ら約80人が参加。地震により、多数の負傷者が搬送される想定で、松波和寿病院長が執った。医師らは負傷者の治療の優先順位を決めるトリアージを実施。軽症の患者に分け、医師と看護師が応急治療に当たることも、負傷者の氏名とボードに書き込むなど、本番ながらに救護の連携を

▲11月2日の岐阜新聞に掲載されました。

10月25日(金)に、「令和元年度大規模災害訓練」を行いました。当院では、毎年大規模災害を想定した実動訓練を実施しています。今回の災害訓練では、近年に発災すると言われている「南海トラフ巨大地震」で多数の傷病者が発生したという想定で行いました。また今回は、羽島郡広域連合消防本部と笠松町に立ち会っていた当院の職員が患者役となり、訓練を実施しました。

訓練では、災害対策本部長を松波和寿病院長が、災害対策副本部長を救急総合診療科部長の八田川雄司医師が務め、連絡・伝達担当、物資指揮担当、外来診療統括など災害時の中核機能を果たす「災害対策本部」の立ち上げに必要な各責任者を決定し、災害医療体制の構築・整備を行い、傷病者20名の対応をしました。訓練後には検証会を行い、今回の訓練で達成できた点、達成できなかった点について話し合い、来年の災害訓練や実際の災害時にどう活かすのかを、訓練に参加した職員で議論しました。

当院は、2011年に岐阜県から「地域災害拠点病院」に指定され、災害時の拠点として機能し、医療機能を構築・整備していく必要があります。特に今年は、台風15号や19号による各地で甚大な被害が発生したことを受け、今回の災害訓練では例年以上に、より具体的な災害時の対応を想定し、訓練を行いました。

この記事では、災害医療の基本的な知識についても触れ、読者の皆さまが災害医療の重要性を知っていただききっかけになれば幸いです。

トリアージとは

災害が起きた緊急時は、限られた医療資源の中で、最大限の救命活動を行わなくてはなりません。そのような状況下で、治療の優先順位や搬送の必要性がある場合に、どの傷病者を優先的に処置・搬送するかを決めることを「トリアージ」と言います。また、フランス語で“選別”という意味にあたる「triage」が語源と言われています。

トリアージは重症度により、赤(第一順位)、黄(第二順位)、緑(第三順位)、黒(第四順位)に区分けされます。黒は無呼吸(死亡)状態であるため、搬送・救命処置の優先順位が最後になります。赤、黄、緑について、今回の災害訓練の写真を交えて説明していきます。



カテゴリーI(最優先治療群)とも言われ、生命に関わる危篤な状態で、一刻も早い救命処置と根治治療が必要と判断される傷病状態を指します。

カテゴリーII(待機治療群)とも言われ、赤ほどではないが、早期の治療が必要な状態を指します。バイタルサイン(体温、脈拍、呼吸数など)が安定していて、多少治療の時間が遅れても、生命の危険はないものの、処置は必要であり、場合によっては赤に変化する傷病状態です。

カテゴリーIII(保留群)とも言われ、歩行可能で、自力で危険な現場から避難ができる状態を指します。軽症な傷病で今すぐの処置や搬送は必要とされず、完全に治療が不要な状態も含まれる傷病状態を指します。

災害拠点病院とは

1995年の阪神・淡路大震災を受けて、被災地の医療機関、医師会などの関連団体、救急医療、建築、通信設備などの各専門家による「阪神・淡路大震災を契機とした災害医療体制のあり方に関する研究会」が発足し、研究成果を発表、報告書が提出されました。これを受けて、1996年に厚生省(現:厚生労働省)の発令によって定められた「災害時における初期救急医療体制の充実強化を図るために医療機関」で次のような機能を整備した病院が「災害拠点病院」です。

- 災害派遣医療チーム(DMAT)を保有し、その派遣体制があること。
- 建築が耐震耐火構造であること。
- 資器材等の備蓄があること。
- 応急用資器材、自家発電機、応急テント等により自己完結できること。(外部からの補給が滞っても、簡単には病院機能を喪失しないこと)
- 近接地にヘリポートが確保できること。など

二次医療圏	所 在 地	区 分	病 医 名
岐 阜	岐 阜 市	基 幹	岐阜大学医学部附属病院
岐 阜	岐 阜 市	基 幹	岐阜県総合医療センター
岐 阜	岐 阜 市	地 域	岐阜市民病院
岐 阜	岐 阜 市	地 域	岐阜赤十字病院
岐 阜	羽島郡笠松町	地 域	松波総合病院
西 濃	大 垣 市	地 域	大垣市民病院
中 濃	美濃加茂市	地 域	木沢記念病院
中 濃	関 市	地 域	中濃厚生病院
東 濃	多 治 見 市	地 域	岐阜県立多治見病院
東 濃	中 津 川 市	地 域	総合病院中津川市民病院
飛 駆	高 山 市	地 域	高山赤十字病院
飛 駆	高 山 市	地 域	久美愛厚生病院

2019年4月時点では、全国に742の災害拠点病院があり、岐阜県内には12の災害拠点病院が存在します。当院は、2011年に災害拠点病院の指定を受け、災害時の医療拠点として役割を果たしていくことはありません。

表の解説

- 二次医療圏とは…
交通事情や地理的条件等の自然的条件などを考慮した、入院にかかる医療を提供することが相当である単位として設定。
- 区分とは…
各都道府県で中心的な役割を果たす「基幹」と、各二次医療圏で原則1箇所設置される「地域」に区分される。